

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

積丹の気候風土を活かした「スピリッツ開発」によるしごと創生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道積丹郡積丹町

3 地域再生計画の区域

北海道積丹郡積丹町の全域

4 地域再生計画の目標

スコットランドのシェトランド諸島では、香り付けにかかせないジュパニーベリー（ネズの木）やボタニカル（ハーブ類）を栽培し、世界でも有数の蒸留酒（スピリッツ）であるジンを生産している。現在、国内にあるジンのそのほとんどが輸入品であり、国内産のジンもジュパニーベリーは輸入している現状にあることから、気候風土も似ている当町の農地において栽培し、純国内産のジンを開発する。

積丹町においては、貿易の自由化や環境対策などから、規模の小さい農家の経営が圧迫され離農する者が続いたことにより、耕作放棄地が増えており、また、過疎化・少子高齢化により担い手不足がおきていることから、産業構造が弱体化し、地域経済が停滞している現状にある。

そこで、離農者等を雇用し未利用となっている町有農地 93 ヘクタールにおいてボタニカル等の栽培を行い、当面は小規模のジン蒸留施設（将来的には本格的な蒸留所を誘致）を整備し生産販売することで、地域経済の活性化を図る。

また、広域観光の推進が求められている現在、近隣町村であり「マッサン」で有名になった余市町のニッカウイスキー工場やワイナリーとの相乗効果による、「スピリッツ等街道」として新たな広域観光ルートを確立する。

【数値目標】

KPI	雇用創出 (積丹G I N)	試作品 (積丹G I N) 開発	観光客入込増	年月
申請時	0名	0件	1,010,000人	H28.3
初年度	1名	0件	1,010,000人	H29.3
2年目	3名	1件	1,011,000人	H30.3
3年目	5名	3件	1,013,000人	H31.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

積丹町の気候風土や恵まれた自然環境、豊かな農産物を使用し当町の優位性を生かした積丹G I Nの試作品を開発し、新たな産業を発掘するとともに、地方創生加速化交付金によるジンにあうマリアージュ（食べ合わせ）試作品を踏まえた商品を開発し、近隣であるワイン用ブドウの原産地でワイナリーを有し、またNHKドラマ「マッサン」で有名なニッカウキスキー工場を有する余市町とスピリッツ街道としてアルコール相乗効果を図り、新たな広域観光ゾーンを創設する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金【A3007】

1 事業主体

北海道積丹郡積丹町

2 事業の名称及び内容：

積丹の気候風土を活かした「スピリッツ開発」によるしごと創生事業

- ① ジンの本格的な生産には5年以上要することから、当該交付金では、町内離農者等を雇用し、未利用である町有農地の土地改良により、ジュパニーベリを始めボタニカル等の試験栽培を行い、ジンの試作品を開発する。試験栽培にあたっては、ボタニカルを乾燥させる必要があることから、乾燥機を購入する。

- ② 「スピリッツ街道」として魅力ある観光ルートを確立するためにも、単なる農地の土地改良ではなく、実績のある佃どさんこミュゼと連携し、道産馬「どさんこ」を活用した蹄耕法による土地改良整備を行うことで、見せる農場としての機能も併せ持つこととなることから、体験型の観光育成牧場も目指していく。
- ③ 当該未利用の農地は貧栄養の土地となっているため、一般廃棄物であるウニ殻を活用したタブレット型の土地改良材を試作し、同農地で活用することで生育を助長させる。
- また、同エリアには、たらの芽や竹の子などの山菜が豊富にあることから、葉っぱ産業にかわる山菜産業の事業化にむけた調査検討を行う。
- ④ 更に、当町の新鮮な農水産物を活用したジンにあう料理としてのマリアージュ（食べ合わせ）の試作品を創作し、地元の製造業者による商品化を図る。
- ⑤ 当町には3つの自然公園遊歩道があり、ジンの原材料となるボタニカルが自生している箇所があることから、これを教育観光の地域資源として整備するためのボタニカルロード基本構想を策定し、グリーンツーリズムなどの自然環境ツアーの実施やPR動画を作成する。このことが積丹GINのPRにもつながる。
- ⑥ ジンについては種類も多く、カクテルのベースとしても使われており、その味も多種多様である。これから試作するジンも積丹町で自生する数種類のボタニカルをブレンドした積丹オリジナルのジンを作ることから、日本人の口にあう嗜好調査や販売ルート確立のための市場調査、試験販売調査などの本格的な生産に向けた基礎調査を行う。

3 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

- ・民間が取り組む道産馬による体験型農場整備や積丹GIN開発等に対し、行政として町有農地や土壌調査のデータ提供、マーケティングについての共同研究を行う。

【地域間連携】

- ・ワイン用ブドウの原産地でワイナリーを有し、NHKドラマ「マッサン」で有名

なニッカウキスキー工場を有する余市町とスピリッツ街道による新たな広域観光ゾーンを創設する。

- ・ボタニカルが自生する海岸線には、北海道遺産の指定を受ける神威岬をはじめとする3大岬も位置し、これをボタニカルロードとする基本構想を策定するため、北海道が、ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園の管理者であることから、北海道と連携することでその業務が円滑に推進する。

【政策間連携】

- ・食・自然・体験をキーワードとした政策が一体的に連携することで、観光振興が図られ新たな雇用の創出につながる。

【自立性】

- ・ジンの開発には相当の時間を要すると見込んでいることから、5年後を目途にした民間による新産業事業化を目指す。

4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

KPI	雇用創出 (積丹GIN)	試作品 (積丹GIN) 開発	観光客入込増	年月
申請時	0名	0件	1,010,000人	H28.3
初年度	1名	0件	1,010,000人	H29.3
2年目	3名	2件	1,011,000人	H30.3
3年目	5名	5件	1,013,000人	H31.3

5 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況について、推進主体の報告を事業担当部署で吸い上げ・取りまとめを行い、外部有識者や議会の関与を得ながら、効果検証を行う。

6 交付対象事業に要する費用

① 法5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

・総事業費 87,000千円

7 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日（3ヵ年度）

8 その他必要な事項

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 積丹の気候風土を生かした「スピリッツ開発」によるしごと創生事業

事業概要：

- ①積丹の気候風土を生かした蒸留酒（スピリッツ）開発に向けたジンの市場調査及び土壌調査等
- ②豊富な魚介・農産物等を生かした「マリアージュ開発」に向けた試作品作成・食べ合わせ提案会のブランディング
- ③町内の資源循環を促進する生産システムの構築に向けたウニ殻等有効活用の推進等

実施主体：

積丹町

事業期間：

平成28年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成31年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

外部有識者による実地調査、ヒアリングの実施による検証を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

事業実施の翌年度6月をめぐり、K P I の達成状況及びその理由について評価を行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

評価を行った後、町のホームページで公表するとともに、議会への報告を行う。